

# 金沢城・兼六園 ガイドマップ

### 加賀百万石 回遊ルートアプリ

QRコードからインストール  
お問合せ：石川県土木部公園緑地課





### 金沢城・兼六園 現地解説 金沢城ARアプリ

QRコードからインストール  
お問合せ：石川県金沢調査研究所 kncastle@pref.ishikawa.lg.jp





## ご利用案内

3/1~10/15 7:00~18:00  
10/16~2/末日 8:00~17:00

※夜間開園・ライトアップ  
日没~21:00 (原則休前日のみ)

※菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門・河北門・鼠多門  
9:00~16:30 (最終入館 16:00)

※玉泉庵  
9:00~16:30 (最終入室 16:00)  
(12/29~1/3はお休みです)

※鶴の丸休憩館  
3/1~10/15 9:00~17:30  
10/16~2/末日 9:00~16:30

入園料：無料

※菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門  
入館料：大人320円(団体250円)  
小人100円(団体80円)  
※団体は30人以上

※河北門・鼠多門  
入館料：無料

※玉泉庵呈茶  
抹茶730円(和菓子付)

金沢城公園

兼六園

3/1~10/15 7:00~18:00  
10/16~2/末日 8:00~17:00

※時雨亭  
9:00~16:30 (最終入亭 16:00)  
(12/29~1/3はお休みです)

入園料：大人320円(団体250円)  
小人100円(団体80円)  
※団体は30人以上

※時雨亭呈茶  
煎茶 310円(和菓子付)  
抹茶 730円

## 見て歩きコース

◆金沢城(城内ルート)	◆兼六園
<ul style="list-style-type: none"> <li>三御門コース &lt;30分&gt; (車イスお推めコース)</li> <li>塔能コース &lt;70分&gt; (菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門の見学には別途約30分がかかります)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>六勝コース &lt;60分&gt;</li> <li>平坦コース &lt;30分&gt; (車イスお推めコース)</li> </ul>

●車椅子ご入館(館)できます

●ガイドヘルパーあり

●動物を連れての入館は禁止です

●二輪車は入園禁止です



●1車イス駐車場は兼六園伝統産業工芸館(☎076-262-2020)、金沢城公園は障害者用駐車場へ  
●2兼六園のガイドは別売(15分) 兼六園観光協会 ☎076-221-6453  
●金沢城ボランティアガイド(日曜日の入口休憩所・玉泉庵に常駐(予約不可))

## 国指定史跡 金沢城公園(28.5ha)

## 特別名勝 兼六園(11.4ha)



<ul style="list-style-type: none"> <li>案内所</li> <li>お手洗い</li> <li>多目的お手洗い</li> <li>オストメイト対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バス</li> <li>タクシー</li> <li>駐車場</li> <li>駐輪場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェ・軽食</li> <li>神社</li> <li>コインロッカー</li> <li>身障者用駐車場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AED</li> <li>入園者出入口</li> <li>重要文化財</li> <li>車イス貸出</li> <li>ライトアップ(2時まで)</li> </ul>
--	--	--	---

関係者以外の上立はご遠慮願います。

# 金沢城の見どころ

## いしかわもん 石川門(重要文化財)

金沢城の勝手(裏口)門で、高麗門の二の門、櫓門の二の門、続櫓と二階二階建ての石川櫓で構成された枡形門で、金沢城三御門のひとつです。天明8年(1788年)に再建されました。枡形内の石垣は右と左で技法が異なり、右側は「切石積み」、左側は「粗加工石積み」です。



## さんじっけんながや 三十間長屋(重要文化財)

二階二階の多間櫓で、安政5年(1858年)に再建されました。倉庫として使われた建物で長さは26間半です。土台の石積みの技法は、「切石積み」ですが、表面の縁取りだけをそろえ、内側を粗く残す「金場取り残し積み」という技法が用いられています。



## かほくもん 河北門

金沢城の実質的な正門で、高麗門の二の門、櫓門の二の門、枡形土塼で構成された枡形門です。石川門、橋爪門とともに「金沢城三御門」と呼ばれ、二の門は城内で最大規模を誇ります。平成22年4月に復元され、内部が一般公開(無料)されています。



## はしづめもん 橋爪門

二の丸への正門として最も格式の高い門で、高麗門の二の門、石垣と二重塼で囲まれた枡形、櫓門の二の門からなります。「金沢城三御門」のひとつで、城内最大の枡形門です。平成27年3月に復元され、二の門内部は一般公開(有料)されています。



## ねずみたちもん 鼠多門・鼠多門橋

かつて城の一部だった金谷出丸(現在の尾山神社)と玉泉院丸をつなぐ門と橋です。鼠多門は二階建ての櫓門で石垣を揺り込むように設けられています。令和2年7月に復元整備され、門内部は一般公開(無料)されています。



## つるまるぼうけいかん 鶴丸休憩館

金沢城公園の情報発信・休憩機能・軽飲食ができるサービス機能を備えた施設として、平成29年4月に完成しました。内部からは菱櫓等のパノラマを大判ガラス越しに楽しむことができます。



## ひしやぐら 菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓

二棟の三層三階の物見櫓「菱櫓」と「橋爪門続櫓」を、二階二階の倉庫「五十間長屋」でつないだ建築物です。平成13年7月に復元され、明治以降に建てられた木造城郭建築物としては、国内最大規模です。内部は一般公開(有料)されています。



## つるまるそうご 鶴丸倉庫(重要文化財)

城郭内に残っているものとしては国内最大級の土蔵です。武器が保管されていました。幕末の1848年に竣工し、明治以降は、陸軍によって被服庫として使われていました。石板を貼った外壁など、櫓や城門などとはデザインを変えています。



## きゅうだいろくりやだんしれいふ 旧第六旅団司令部

木造瓦葺きのフランス様式を取り入れた平屋建ての建物です。明治31年に建てられました。中央に玄関があり、左右対称の外観です。レンガ積みの基礎に、腰から軒までの外壁はモルタル塗り、上下に開閉する窓が付いています。



## ぎよくせんいんまるていせん 玉泉院丸庭園

2代藩主利長の没後、正室玉泉院(永姫)が屋敷を構え、後に利常(3代)が没後、作庭を始め、廃藩時まで藩主の内庭として存在していました。平成27年に池泉回遊式庭園として江戸後期の姿を再現するとともに、池のほとりには庭園を一望できる玉泉庵を整備しました。



## かなざわじょう いしがき 金沢城の石垣

金沢城は「石垣の博物館」とも言われ、多種多様な石垣が現存しています。城の周りには野趣に富む高石垣、藩主の御殿や庭園周りにはデザイン感覚にあふれる石垣群を築くなど、場所によって石垣様式を使い分けています。



東の丸北面石垣

## ぎよくせんあん 玉泉庵

江戸時代に露地役所(庭の整備管理に関する役所)があった場所に庭園を一望できる休憩所として、平成27年3月に完成しました。施設では休憩機能だけでなく、案内所や本格的な茶室を備えています。



庭を眺めながら、それぞれオリジナルの上生菓子と抹茶が堪能できます(有料)。上生菓子は2か月ごとに替わります。

# 兼六園の見どころ

## ことじとうろう 徹軒灯籠

徹軒灯籠は足が二股になっていて、琴の糸を支える琴柱に似ているのでその名がつけられたといわれています。この灯籠は水面を照らすための雪見灯籠が変化したもので、高さは2.67メートル。かたわらのモミジの古木、曲水に架かる虹橋と一体となって優れた風景を醸し出しています。



## かんとうばし 雁行橋

11枚の赤戸室石を使用し、雁が夕空に列をなして飛んでいく様をかたどった「雁行橋」。石の1枚1枚が亀の甲の形をしていることから「亀甲橋」ともいわれ、この橋を渡ると長生きするとされてきましたが、現在は石の磨耗が著しいため、通行できなくなっています。



## はなみばし 花見橋

擬宝珠の欄干がある木橋。橋から見る花の眺めが素晴らしいことから、この名前が付けました。花の季節になると、穏やかに流れる曲水に沿って、桜、カキツバタ、サツキ、ツツジなどが咲き誇り、多くの人を魅了します。夏の緑陰、秋の紅葉、冬の雪景も見逃せません。



## はいりん 梅林

昭和43年、明治百年記念事業として、北野天満宮、大宰府や湯島天神、水戸借楽園などの協力により、全国の名梅を集めて造成されました。その後、平成12年度に長谷池周辺の庭園整備を終え、現在20種類、200本の梅が植えられており、3月になると紅白の花が美しく咲き誇ります。



## からさきのまつ 唐崎松

13代藩主・齊泰が近江八景の一つ、琵琶湖畔の唐崎から松の種子を取り寄せて育てた黒松。兼六園の中で最も枝ぶりの見事な木です。雪の重みによる枝折れを防ぐため、冬にほどこされる雪吊りは他の庭園では見られない、兼六園ならではの風物詩です。



## ねあがりまつ 根上松

大小40数本もの根が地上2メートルにまでせり上がった奇観はたいへんな迫力で、兼六園名物の一つとなっています。この松は、13代藩主・齊泰が、松の根が地表近くに成長する性質を利用して土を盛り上げて若松を植え、根を深く土で覆い、成長後に土をのそいで根をあらわにしたものだといわれています。



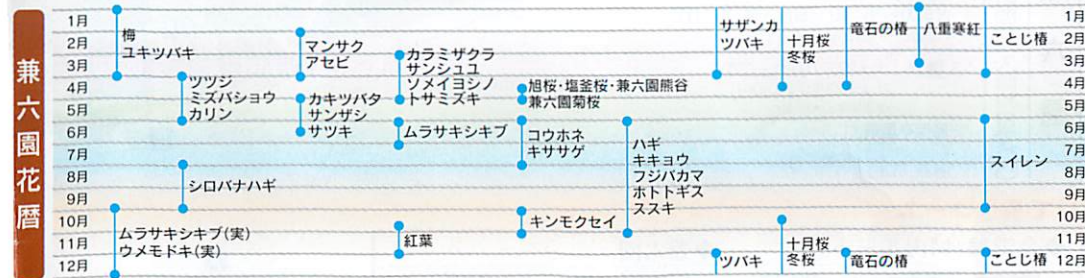
## やまざきやま 山崎山

カエデ、トチノキなど落葉広葉樹林が多く植えられており、秋になると赤や黄に美しく色づくので「紅葉山」とも呼ばれます。山腹には白川御影石で作られた五重の塔(御室の塔)があり、また、山麓の岩間から流れ出る水は、約570メートルの曲水となって霞ヶ池に注いでいます。



## ふんすい 噴水

霞ヶ池を水源とし、池の水面との高低差による自然の水圧であがっています。水の高さは霞ヶ池の水位によって変わりますが、概ね3.5メートルです。藩政末期、金沢城内の二の丸に水を引くため試作されたものと伝えられており、日本で最古の噴水といわれています。



## ●問い合わせ先

石川県金沢市丸の内1-1 (〒920-0937)  
石川県金沢市・兼六園管理事務所  
TEL 076-234-3800 FAX 076-234-5292

※詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/>

## しぐれでい 時雨亭

時雨亭は、5代藩主綱紀が建てた蓮池御亭が起源とされています。6代藩主吉徳が御亭を建て替え、藩政後期には時雨亭とも呼ばれるようになりました。現在の時雨亭は、当時の平面図をもとに位置を変えて平成12年に再現した建物です。

